

挑戦 感動 笑顔

輪島地区合同6小学校

Challenge Impressed smile

学校だより 第3号

「聴く力」を身に付けることの大切さ

緑が鮮やかさを増すとともに、赤や黄色の色を付けた野に咲く草花の可憐な中にも力強いエネルギーが感じられる季節です。新学期より二か月が経ち、子どもたちは今の学校生活に慣れ、活動的な様子を目にします。チャイムがない中で、時間を守って行動している姿に感心します。登校してくる児童の表情には笑顔が見られたり明るく元気なあいさつの声が聞こえたり6年生から自然発生的にあいさつ運動のような行動が見られたりと一日が気持ちよくスタートします。

朝、元気に登校し、無事に帰宅することが学校として優先するところであると捉えており、保護者や地域の方の見守り、職員の街頭指導などのおかげで児童は毎日安全に通学できることに感謝しています。

さて、学校では、「挑戦・感動・笑顔」のあふれる学校をめざし、教育活動を展開しています。そのような中で、「(話を)きく力」を身に付けることを日々の取組として重視しています。相手の話をしっかり「きく」ことは、すべての学習の土台となるからです。

しっかり「きく」とは・・・

態度面(外面的なこと)と心情面(内面的なこと)を併せてきくことができる力です。

- ・相手を見て(体を向けて)
- ・手遊びなどせずに
- ・最後まで静かに
- ・相手がどんなことを言おうとしているのかを考えながら(予測しながら)
- ・自分の考えと比べながら
- ・相手が話したことを自分も言えるように

以上のようなきき方をすることで、誰もが学習に集中でき、内容も深まっていきます。また、このようなきき方は、話し手に対してリスペクト(相手を大切に思う心、尊重)することであると考えています。

「聞く」の字は、言葉の意味を理解するだけのきき方です。「聴く」の字のように相手のことを思いやってみることで、確かな学びの定着と温かい人間関係を築けるよう、子どもたちを応援していきたいと思っています。

さまざまな「挑戦」「感動」「笑顔」

—体育の授業—

5月の中頃より河原田小学校の体育館が使用できるようになり、スクールバスで往復しています。安全面に気を付けて整列し移動したり、バスの乗降のマナーを守ったりと、たくさんの学びを経て体育授業に向かっています。広い体育館で思いっきり体を動かし汗いっぱい笑顔いっぱい帰ってきています。



—著名人によるあそびうた&手品—

被災した子どもたちのためにと、ガーガーズ、マジシャン・ヒデといわれる方々が学校に来てくださり、1・2年生にあそびうたや手品を披露してくださいました。子どもたちは曲に合わせて体を動かしたり、プロのマジックに驚いたりしながら、楽しい時間を過ごしました。手のひらにのせるとクルンと曲がる魔法のシートをもらい、子どもたちは大喜びでした。



—音楽でいろいろな人々と交流—

「能登応援合唱プロジェクト」と題する、能登を応援する仲間が集ってのリモート交流のお誘いをいただき、4年生が参加しました。さまざまな国の人からの応援メッセージがありました。4年生全員で歌った「小さな世界」を聴いてもらい、最後には参加者みんなで「青葉城恋歌」をさとう宗幸さんのギターに合わせて歌いました。



今後のお楽しみ予定

—のまりんの紙芝居— 6/19

3年生以上の学年が対象の予定です。



校内に飾られている山野草